

# 「火の用心だより」第89号(令和4年8月)

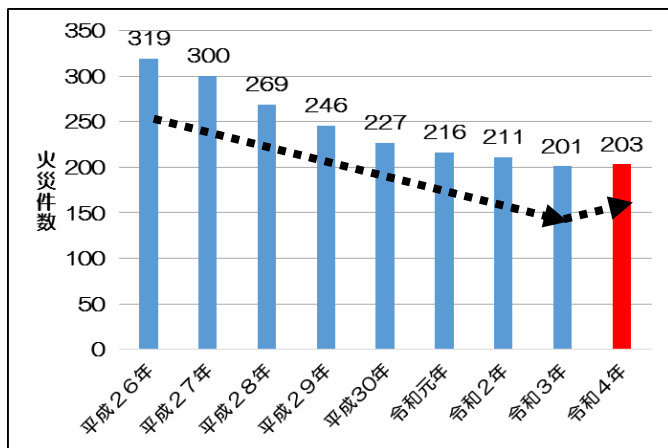
発行：札幌市消防局予防部予防課

## 令和4年上半期の火災発生状況(速報値)

札幌市内における令和4年上半期の火災件数は203件で、平成26年から減少傾向にありましたが、昨年上半期と比較すると2件増加となりました。

また、火災による死傷者を昨年上半期と比較すると、死者は12名で1名の増加、負傷者は38名で2名の増加となっています。

【火災件数の推移(上半期)】



【火災種別・死傷者に係る昨年との比較】

	総数	爆発	火災種別					林野	車両	ご収集み車	その他	野火	死者	負傷者
			全焼	半焼	部分焼	ぼや								
令和4年	203	0	141	10	9	38	84	1	27	7	34	6	12	38
令和3年	201	1	146	18	6	24	98	1	24	16	30	8	11	36
前年比較 増 ▲減	2	▲1	▲5	▲8	3	14	▲14	0	3	▲9	4	▲2	1	2

※建物火災 141 件のうち、住宅火災は87件発生しています。

## 出火原因について

出火原因別(上位5位まで)の件数を昨年上半期と比較すると、電気関係が42件で4件増加し、最も多く発生しています。次いで、放火が34件で12件増加し、こんろが33件で1件増加、たばこが31件で16件増加、ストーブが8件で6件減少しています。

【主な出火原因別に係る前年との比較】

	電気関係	放火	こんろ	たばこ	ストーブ
令和4年	42	34	33	31	8
令和3年	38	22	32	15	14
前年比較 増 ▲減	4	12	1	16	▲6

# お盆の時期は、<sup>とうかかさい</sup>灯火火災に御注意を！

お盆の時期に気を付けていただきたいのは、<sup>とうかかさい</sup>「灯火火災」です。あまり聞きなれない火災原因かもしれませんが、ろうそくの明かりは裸火であるため、その火が可燃物に接近・接触することによって発生する火災のことを言います。

平成28年から<sup>とうかかさい</sup>灯火火災は10件未満で推移していましたが、令和3年では12件発生しています。過去の事例及び火災を防ぐポイントなどについて再確認し、お盆を安全に過ごしていただけたらと思います。

## ●事例●

① 段ボール製の簡易的な祭壇(右写真)の上でろうそくを灯し、別の部屋で食事をしていたところ、ぱちぱちという音が聞こえたため、祭壇のある部屋を確認すると、室内に煙が充満し炎が天井まで上がっていた。

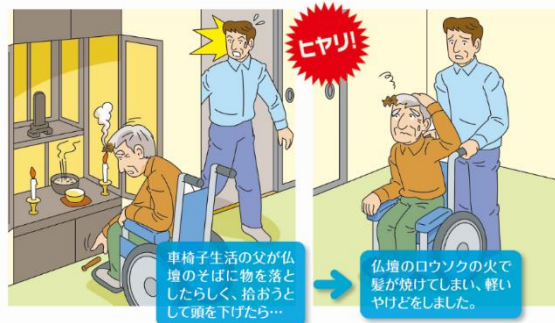
☞ なんらかの理由でろうそくが倒れたものと思われます。ダンボール製の祭壇は、振動などに弱く、不安定であるため、ろうそくが倒れやすくなっています。

② 仏壇のろうそくを灯したあと、少し目を離れた隙に、火が近くの可燃物に触れたことにより、仏壇から炎が上がっていた。

☞ ろうそくのそばに、造花やお供え物など燃えやすいものを置くと、火が燃え移ってしまう危険があるので注意が必要です。

※ 猫などが燭台を倒してしまうケースもありますので覚えておきましょう。

段ボール製の祭壇



## ●火災を防ぐポイントと対策●

① ろうそくが倒れたり、カーテンがなびいて着火する恐れがあるため、風の当たる場所では使用しない

② ろうそくや線香の近くに燃えやすいものを置かない

③ 仏壇や祭壇のそばから離れるときは、必ず火を消す

④ ろうそく台は安定したものを使用する

⑤ 電気ろうそくや、短いらうそくを使用する



### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しよう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけよう
- ③ 消火器などの防災機器を備えよう
- ④ 防災品を使用しよう
- ⑤ 放火されない環境をつくりよう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りよう

発行:札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

